しげとみ 重冨たつや と川崎市政を考える会

改革無所属の力

第7号

市民派の代表にインタビュー

代表 重冨たつや × 川崎市政を考える会 会員

市民の望むサービスはココにあり！

川崎市政を考える会は、市民が置き去りにされている市政を変えるために立ち上げられました。市議会の変革について重冨氏に伺いました。

会員 なぜ今議会改革なのですか？

重冨 理想の政治家による理想の政治を期待することに限界がきたからです。私が子供のころ、グリーンピアという施設に関するニュースがよくやっていました。

子供ながらに、政治家というものに不信感を抱きました。

「グリーンピア」年金

こんな思いを抱いていた

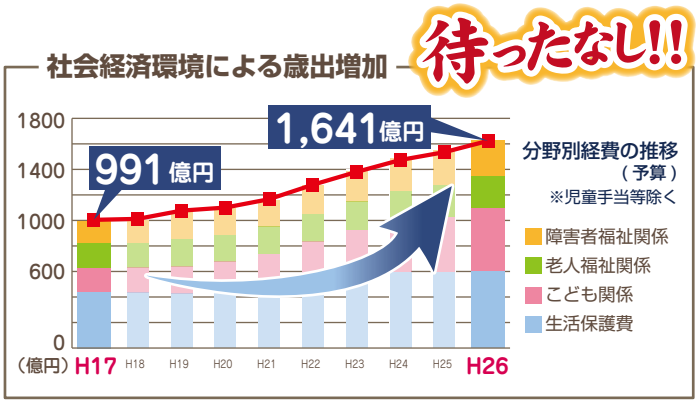
代表 重冨氏 幼いころ

日本の政治を不安に思わせた出来事

今の政治で私たちや次の世代は幸せになれないんじゃないか？
不安や不満があるのに本気で政治と向き合えている大人は少ないんじゃないか？

会員 政治は政治家に任せたいのですが？

重冨 川崎市政は大きな曲がり角を迎えています。来年度の予算編成方針で「ここ数年においては、毎年度 200 億円程度の収支不足が見込まれて」とされています。私たち1人1人が信頼できる政治家を見つけて、家族や街の未来を一緒に考えていくことが必要です。



重冨氏の描く議会改革とは！？ うら面へ

重冨氏の描く議会改革とは！？

代表にインタビュー 代表 重冨たつや × 川崎市政を考える会 会員

会員 議会改革で議会をどう変えたいのですか？

重冨 本来議会は、市民の想いを代弁しなければなりません。しかし私たちが市議会との繋がりを感じるのは選挙の時くらいではないでしょうか。一部の支援者や関係者だけではなく、より多くの市民に寄り添った議会を目指したいです。

会員 具体的にはどのような改革なのでしょうか？

重冨 まずは「市民と議会の対話の場」をつくる改革だと考えていただきたいと思います。急に「議会と対話」と言われても難しいと思いますが、私たち１人１人が家族や街のために、何ができるのかを考える必要があります。対話の場は、そのきっかけとなります。

会員 対話することで何が変わるのでしょうか？

重冨 一番わかりやすいのは議員報酬でしょう。この人たちになら年間１３００万円の報酬を払ってもいいと思えるかどうかです。例えば、任期４年で毎年１割カットしていくと、２億円の財源を生むことができます。しかしそれは議会を知らずにやるべきことではありません。報酬以外でも、対話は市民の想いと予算の架け橋となります。

改革で市民の望むサービスを実現！

政治家たちの あれも、これも、やります!!

本当にできるの？
みんな同じこと言ってない？

と、思ったことはありませんか？

つづきは ホームページへ

リニューアルしました

ワ冠（かんむり） **重冨たつや** 検索

しげとみ たつや
重冨 達也

1988年11月18日生 **26歳**

等々力保育園／宮内小学校
高輪中学校・高輪高等学校
首都大学東京 航空宇宙工学専攻 入学
大手学習塾 入社 元学習塾・塾長！

発行者 重冨たつやと川崎市政を考える会
〒211-0053
川崎市中原区上小田中5-10-14
メゾン中原102
電話・FAX：044-920-9991
メール：shigetomi_tatsuya@outlook.jp
Twitter @shigetomi9991 Facebook 新しい政治